



説明を受ける和泉都議(しんぶん「赤旗」提供)

# 駅構内のホームドアの設置を急げ!

## 和泉なおみ都議と区議団・参院議員団合同調査

10月1日午前10時21分頃、京成立石駅のホームから視覚障害の女性が転落し、入ってきた電車に身体をはさまれて亡くなるという、痛ましい事故がありました。

和泉なおみ都議は、10月4日、山添拓、武田良介両参院議員、三小田准一区議、木村ひでこ区議とともに、京成電鉄から現場の調査、事故概況の説明を受けました。

この調査には東京都視覚障害者協会(東視協)からも6名の方が参加し、調査に立ち会いました。

京成立石駅は2本並んだレールをはさんで両側にホームがあります。

東視協の山城さんは、「転落した女性は、反対側ホームに入った電車を自分が乗る電車と勘違いしてホームから転落したのではないか」と言います。

ホームドアがあれば防げた事故でした。現在京成線でホームドアが設置されているのは、日暮里駅と成田の

空港第2ビル駅のみです。

山城さんは「ホームドアのない駅は、視覚障害者にとって欄干のない橋」と訴えます。

駅からの転落死亡事故は、ホームドアを設置しなければなりません。

国も都も、鉄道事業者も「命の扉」の設置を急ぐべきです。

### カワセミの子育て

### 和泉なおみ

「水元公園内の不動池の水質が悪化している」と地域のボランティアの方から相談があり、現地に行きました。不動池は水元公園の一番東側の流出入がない閉鎖型の池です。

ここで、カワセミが子育てをしていることを知る方たちが、ボランティア組織をつくって、水質の保全やカワセミが子育てをしやすい環境を維持する活動をされています。行ってみると、池に面したデッキにはずらりとカメラの三脚が並び、



30名ほどの方たちが、汗をかきながら雑草を取り除いたり、池の淵を掃除したり、

水の中に止まり木になるような枝をさしたりしています。そんな中を、数羽のカワセミが場所を取り合ったり、さつそく新しく設置した止り木に止まったり。

今年も、5月、7月、9月と合計で15羽がここから巣立っていったそうです。カワセミが子育ての様子を間近に見せてくれるこの場所は、とても貴重です。愛すべき場所、守るべき場所がまた増えました。

日本共産党都議会議員

和泉なおみの  
さわやかレポート

NO.44  
2019.10

発行：和泉なおみ事務所 TEL5671-0850  
葛飾区東立石 3-25-8 FAX 5671-0851



日本共産党都議会議員・和泉なおみの

### 生活・年金・法律相談

11月13日(水)午後2時より  
於・和泉なおみ事務所

事前にお電話ください

毎月第二水曜日に、東部法律事務所のご協力をお願いいたします。生活・年金・法律相談会を開催いたします。



### 決算特別委員会が始まります

和泉なおみ都議は、今年も決算特別委員会のメンバーとして質疑を行います。

10月18日は市場と港湾局、23日は建設局と都市整備局、28日は住宅政策本部と環境局、30日は労働委員会と産業労働局です。

# 子どもたちを貧困から救え！

## 和泉なおみ事務所「子どもの貧困学習会」を開きました

9月18日、和泉なおみ事務所主催の「子どもの貧困学習会」が、川松亮明星大学教授を講師に迎え、開催されました。平日の午前中ではありましたが、43名が参加し、子ども劇場や他会派の区議会議員なども熱心に話に聞き入りました。



お話をする川松亮明星大学教授

### 子どもの貧困の「今」

ています。しかし、都の計画は「子供・子育て支援総合計画」と一体となっていて、単独計画を作っていません。

和泉なおみ都議は、自らが貧困家庭で育った経験から、「子どもの貧困問題」に一貫して取り組んできました。

平成25年にできた「子どもの貧困対策法」では、自治体が対策のための「基本計画」を策定することになっ

松教授が子どもの貧困の「今」はどうなっているのか、一時間半にわたって話されました。

### 見えない貧困とは

食べるものがない、着るものがないなどの「絶対的貧困」とは違い、標準的な家庭で与えられないものが与えられていない「相対的貧困」。

大変な状況でもスル、いなくなる、そうなるマホをもち、ほかの周りが貧困に気づくことが多いです。「見えない貧困」です。

食生活の中で、子どもは

しかし、修学旅行に参加できない、突然学校に来なくな

日常生活の中で、子どもは親に負担をかけないように、必死に頑張っています。

### 「助けて」と言えない

また、貧困世帯の多くは親も「助けて」と言えないという話もありました。

自己責任論が広がる中で、「ダメな親」と思われはしな

いか。親としての責任を強く意識するからこそ、「自分で何とかしなければ」「甘えるわけにはいかない」と親も自分を追い詰めます。意を決して相談に行った行政の窓口です。

### 「働いているのに貧困」

日本のひとり親家庭の貧困率は、OECD諸国の中で最も高く、5割を超えています。さらに深刻なのは、就労率が高いのに、どこ

よりも貧困だという事実です。また、税金や社会保険などが高く、それに見合う社会保障が少ないため、ひとり親家庭では所得再分配が機能せず、逆に貧困率が高くなっています。

### 何が必要か？

ひとり親家庭への経済的給付の拡大や、子育てのあらゆる場面で、お金の心配をなくすこと、また、気軽に相談できる場所や安心できる居場所を身近なところにつくることが重要だと川松教授。保育園・学校・児童館は子どもの貧困対策

の最前線として重要な役割があることも話されました。児童館をなくそうという葛飾の姿勢があらためて問われます。和泉なおみ事務所では、この学習会を受けて、葛飾区が行った子ども若者調査アンケートの分析などをを行い、都や区への提案につなげていく予定です。

### 都立高校訪問を

しています



葛飾野高校の校長先生と (9/30)

和泉なおみ都議会議員は、葛飾区内の都立高校を訪問し、学校のスポーツ環境、部活動と先生の働き方の問題、施設整備、18歳選挙権で子どもたちの変化等々さまざまに課題で懇談をおこなっています。そこでの要望を都政に反映します。